

## ロッシーニ《オテッロ》初版・初期楽譜（水谷彰良コレクションより）

《オテッロ、またはヴェネツィアのムーア人 (*Otello, ossia Il moro di Venezia*)

3幕のドランマ・ペル・ムジカ (dramma per musica in tre atti)

台本：フランチェスコ・ベリオ・ディ・サルサ (Francesco Berio di Salsa, 1765-1820)

作曲：ジョアキーノ・ロッシーニ (Gioachino Rossini, 1792-1868)

初演：1816年12月4日 ナポリ、フォンド劇場



### 1) 初版楽譜 (B.ショット息子、マインツ、1819年)

初版楽譜(ピアノ伴奏譜) ショット、1819年 プレート番号:1310

Spartito riduzione per canto e piano., B.Schott figli, Magonza, s.d.[1819] [probabile prima edizione]

\* 1 spartito ([3], 200 p.); 24×32.5 cm, N. di lastra: 1310 [Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo]

#### タイトル頁記載：

O'TELLO / ossia / L'AFRICANO DI VENEZIA / Drama tragico in tre Atti / del Sig.r M.o Gioachino Rossini / Magonza presso B. Schott figlj editore di musica di S.A.S. il Gran duca d'Assia / [左] Proprieta degli Editori [右] Pr fl 12.

#### 概要：

全集版の校註書(1994年)は《オテッロ》の初版楽譜を1819-20年にライプツィヒのブライトコプフ&ヘルテル(Breitkopf und Härtel)、2番目を1819-21年マインツのB.ショット息子の刊行したピアノ伴奏譜としている。しかし、その後ロッシーニ財団はショット版の刊年を1819年と認定し、B.ショット息子版とブライトコプフ&ヘルテル版共に「おそらく初版楽譜」と位置づけている(fondo Lord St. Davids 目録)。

筆者所蔵のB.ショット息子版はハードカバー装丁で外装25.5×34cm、頁サイズは24×32.5cm。プレート番号:1310。タイトル頁(イラスト付。裏:無地)、献呈頁(裏:無地)、人物表と楽曲目次(裏:無地)、楽譜200頁(pp.1-200)からなり、テキストはドイツ語にイタリア語を併記。

このエディションはブライトコプフ&ヘルテル版と無縁に作成され、他の幾つかの初期エディションと同様に役名エルミーロ(Elmiro)がブラバンティオ(Brabantio)と変更されているが、歌詞の中にはエルミーロも残っている。また複数の楽曲でバルバンティオ(Barbantio)と誤記されている。完全ではないものの各ナンバーに続くレチタティーヴォを備えており、楽曲の区分もロッシーニのオリジナルどおり序曲(Ouverture)と10のナンバーからなる。これに対し、ブライトコプフ&ヘルテル版は6箇所のレチタティーヴォを欠いている(但し、楽曲区分とエルミーロの役名はオリジナルどおりで、歌詞もイタリア語にドイツ語が併記される)。ちなみにドイツ語圏における最初の《オテッロ》上演は1818年9月18日にミュンヘンで行われ、同年秋にはヴィーンでも上演されている。



外装

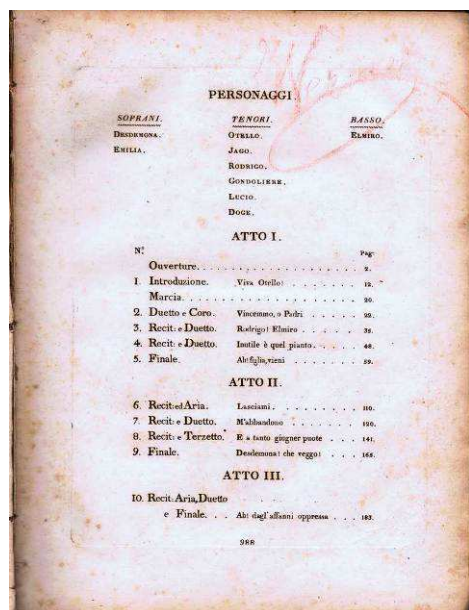
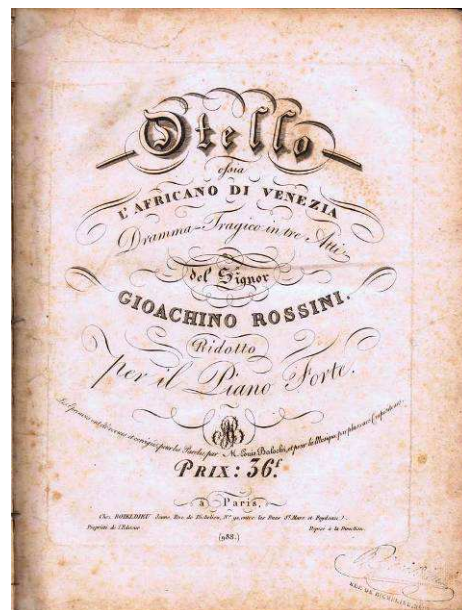
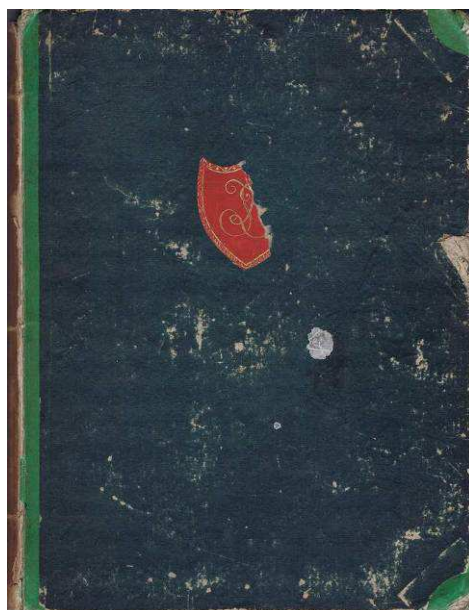


タイトル頁 (B.Schott figji,1819)



PALPITA INCERTA L'ALMA / RECITATIF ET CAVATINE / DE LA DAME DU LAC / Chantés par Madame PASTA. / Dans le 1.er Acte d'OTELLO, / Musique de ROSSINI. / Prix: 3.f 60.c / À PARIS Chez BOIELDIEU J.ne rue de Richelieu N.o 92 entre les rues S.t Marc et Feydeau.

ボワエルデュー版の  
外装とタイトル頁  
(Boieldieu, Paris,  
1820-21c.)



同前、人物と目次、  
楽譜の冒頭頁



### 3) フランス初期版 (パシーニ、パリ、1821-22年)

フランス最初期版(ピアノ伴奏譜) パシーニ、パリ、1821-22年 プレート番号:900-921. [senza 907]

Spartito riduzione per canto e piano., Pacini, Paris, 1821-22.

\* 1 spartito ([2], 194 p.); 33.5×26 cm, N. di lastra: 900-921. [senza 907] [Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]

タイトル頁記載:

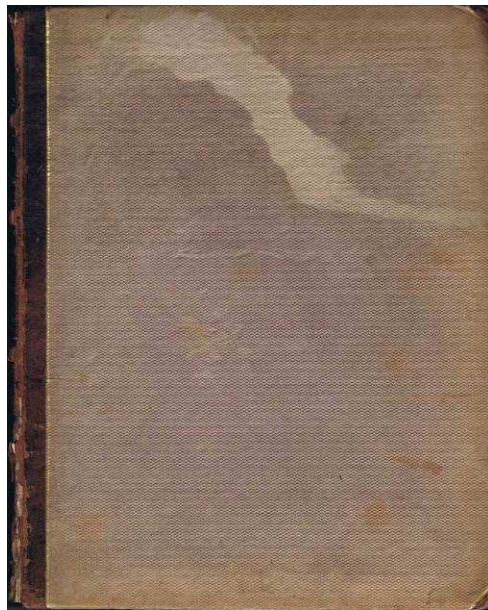
OTELLO / Opera Seria / Posta in Musica / Dal Maestro / GIOACHINO / ROSSINI / Nuova Edizione. / Prezzo: 36.f / IN PARIGGI / Nel Negozio di Musica / di Pacini, / Boulevard des Italiens, N.o 11. / 900.

概要:

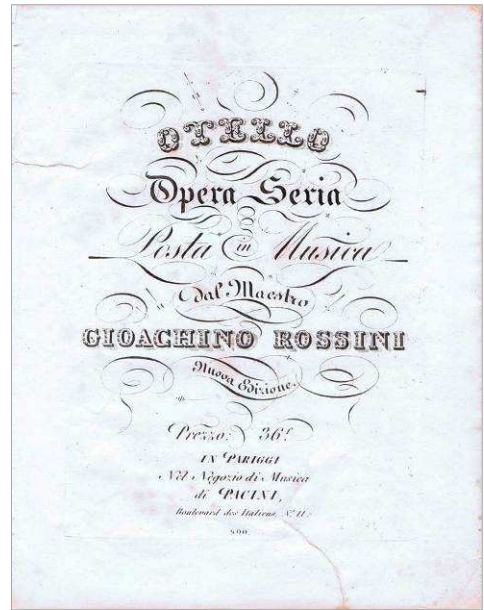
このパシーニ版はフランスにおける最初期エディションで、前記ボワエルデュー版に続いて1821年5月以降に出版されたカルリ版(Carli, c.1821-1822)とほぼ同時期に出版された(新版 Nuova Edizione と付記)。N.4二重唱の後のレチタティーヴォの縮約は他のエディションと同様だが、第3幕(オリジナルN.10)が4曲に区分されたため楽曲区分は序曲(Ouverture)と14のナンバーからなり、エルミーロの役名はオリジナルどおり。

筆者所蔵は背皮のハードカバー装丁で外装34.3×27.3 cm、頁サイズは33.5×26 cm。プレート番号は900-921で907

を欠いているが、そのプレート番号はそもそもこのエディションに欠いている。タイトル頁(裏:無地)、楽曲目次(裏:無地)、楽譜194頁(pp.4-185)からなり、テキストはイタリア語のみ。



パシーニ版  
外装とタイトル頁  
(Pacini, Paris, 1821-22)



同前、楽曲目次と  
楽譜の冒頭頁



付記：その他の筆者所蔵の全曲楽譜と楽曲ピースについて

他に筆者の所蔵する《オテッロ》全曲楽譜は、1838年パリでマルクリー兄弟の出版したピアノ伴奏譜(Marquerie frères, Paris, 1838.)と19世紀末のリコルディ版である(Ricordi, Milano., n.ed. 43971.)。これとは別に楽曲ピース単位で5種以上の19世紀エディションもあるが、詳細を省略する。なお、19世紀の印刷総譜はカスティル=ブラーズによるフランス語改作版(chez Castil-Blaze, Paris, c.1824.)が唯一で、原語による総譜は全集版が最初となる。

(2013年2月作成。水谷彰良)